
監獄の中の欲望 欲望の光

花純弥生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

監獄の中の欲望 欲望の光

【Zコード】

Z9243F

【作者名】

花純弥生

【あらすじ】

裏の裏と呼ばれる組織「連鎖」に囚われる一人の少年「蘭咲」は自由を求める日々を送っていた。自由を奪う張本人である「蒼矢」に対して日々牙を向けては暴力によつて制裁を加えられる日々……。蘭咲は生きる気力を失くしていった。だが蘭咲に大きな出会いが現れる。「婚約者」として蘭咲の前に現れたのは同じ故郷出身の「朝日」。彼女も自由を求める生活を送っていた。二人は手を組み、「連鎖」から抜け出そうと画策をする……。

詩「誰かの光」

自由を手に入れるところには、何か代償が必要なのだろうか。俺は最近そんな事を思つ。この世の中では理不尽に命を奪われる事など腐る程ある。

が、自由を奪われるというはある意味命を奪われるという事よりも酷く残酷で非情な事なのではないのか。自分の全てを相手に奪われ、監視される。そして相手には一切逆らう事を許されない。死ぬ事すら許されないので。

自殺を考えた事もある。何度も。

「」の手で、この爪で自分の喉を引き裂いたらどうなるのだろうか。ちゃんと死ねるのだろうか。タンスに頭を強打させたらどうなるのだろうか。すぐに死ねるのだろうか。 そんな事ばかりを考えて、俺は鬱になつた。

でも、相手は鬱になる事をえ許してはくれない。俺が反応を示さなければ、相手は俺を殴つて無理でもいいから振り向かせようとする。たくさんの薬を飲ませて、一時期は鬱を通り越して躁病になつた事もある。それだけの薬を強制的に飲ませて、俺は今こうして普通の精神を持つていられるのは奇跡としか言い様がない。

今、こうして俺は本を読んでいる。どこにでも売つていいそうな、普通の宗教の本。様々な人物の解釈が一冊の本に載つていると、いうのは面白いものだと俺は思う。

一冊の、小さな世界の中で様々な思想が蠢いていると思つと笑つてしまつ。俺のこの小さな世界には何も蠢いていない。年月が経つても何も動かない、何も変わらない、ある意味での理

想郷。

でも欲張りな俺は自由を求めてしまっている。手を伸ばして、手を叩かれて。その繰り返しの日々を過ごす。足に鎖をつけられたつて、俺は求め続ける。

『光』というものを。

誰が俺に光を運んでくれるのだろう? 誰が俺に光を教えてくれるのだろうか。外に出たい。ただその一心で俺は「アイツ」に牙を向ける。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9243f/>

監獄の中の欲望 欲望の光

2010年10月10日01時30分発行